

# さくら会\*会報

## ご挨拶

植草学園さくら会 会長 小林 鶴枝

会員の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃は、植草学園さくら会へ深いご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

当会は平成22年4月に植草学園の各同窓会の連合会として組織し、同窓生同士の交流、親睦を図り、併せて学園との連携を強化し、学園の発展に寄与することを目的に設立され、おかげさまで5周年を迎えました。

植草学園さくら会の活動も活発になり、毎年、大学・短大の緑祭では、さくら会で企画いたしました「大抽選会」



小倉キャンパスの桜(H27.4)

を行い、学生や地域の皆様からも大変好評をいただく催し物となっています。大抽選会の売り上げと併せまして、植草学園さくら会より、学生のために役立てていただくための寄付金もしております。

また、今年度からは、学園が取り組み始めた「共生の森」の整備等の事業も活動に加わりました。

さくら会役員を中心とする卒業生同士が交流し、卒業校、世代を超えて、植草学園らしい温かなコミュニケーションが育くまれ、少しずつではありますが、その目標を達成しております。活動の様子は、会報やHPをご覧いただけましたら幸いに存じます。

今は学校がなくなってしまった卒業生の皆様も、ご安心くださいませ、私たちの思いを、植草学園大学附属高校、植草学園短期大学、植草学園大学の学生たちが、しっかりと継いでくれていますし、新しい学校の卒業生同士も仲良く活動させていただいております。どうぞ、弁天キャンパス・小倉キャンパスに遊びにいらしてください。学園はいつでも、心より卒業生を歓迎してくれます。

そして私たちは、新たな歩みを続ける植草学園を、一番愛する応援団でいたいと思います。どうぞ、今後とも一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに皆様の益々のご健勝とご活躍、併せて植草学園のさらなるご発展を祈念いたします。



幼稚教育専門学校卒  
13期生

## 子ども子育て新制度と植草学園

学校法人

今年度から国の子ども子育て新制度がスタートしました。この新制度は、1人1人の子どもが健やかに成長できる社会の実現を目指して創設されたものです。

植草学園では、この新制度の主旨に沿い認定こども園を設立することになりました。植草学園大学附属弁天幼稚園と植草弁天保育園とを「認定こども園 植草学園大学附属弁天こども園」として、平成28年4月からスタートさせます。これまで培ってきた幼稚園と保育園のよいところを引き継ぎ、主体的な遊びを通して心身健やかで感性豊かな子どもを育むことを目標にしています。

また、今年度から弁天キャンパス内に子育て支援・教育実践センター「こいくく べん」を開設しました。このセンターは地域の子育て支援や子育てに関わる方々の教育を行うための施設です。少子高齢化の進む社会にあって、

植草学園 理事長 植草 和典

子育てを通して地域の結びつきを強化し、皆が豊かに生きる社会づくりに貢献したいと思っています。



植草学園は、植草幼稚教育専門学校の時代から幼稚園教諭、保育士の養成を通して子どもの成長や子育てを考えてきました。そのことは現在の短期大学や大学へとしっかりと継承され、発展をしてきています。これからも、植草学園大学、植草学園短期大学(養成校)とその附属の幼稚園やこども園、そして、子育て支援・教育実践センターの3部門が共に連携することにより、植草学園の強みを生かした新制度への対応すると共に、社会への貢献に尽力していきたいと考えています。

## 第6回 植草学園さくら会企画「大抽選会」報告

第6回 植草学園さくら会企画「大抽選会」も、多くの皆様にご協力をいただき、盛会に終えることができました。

開催日 平成27年11月14日(土) 13:15~

場所 第16回 植草学園大学、植草学園短期大学 緑栄祭メインステージ



賞品  
計60本!



800枚の抽選券を1枚100円で販売し、売り上げを植草学園教育研究振興基金に寄附させていただきました。

1等 リゾートペアチケット(舞浜)	2本
2等 お楽しみカード(5,000円)	3本
3等 お楽しみカード(2,000円)	2本
4等 お米!(コシヒカリ3kg)	20本
5等 図書カード(1,000円)	5本
6等 おいしいコーヒー券	5本
7等 クリスマスブーツ	5本
8等 プチギフト♥	7本
9等 もらって嬉しい主婦の味方+おまけ♥	6本
10等 おいしいおやつ5本	5本

## 子育て支援・教育実践センター運営開始

植草学園では、これまで「相談支援センター」を運営していましたが、子育て支援ニーズの高まりを受け、平成27年度より、「子育て支援・教育実践センター」に改組し、今まで以上に充実した支援を行っています。

今回の改組に伴い、小倉キャンパスに加えて、弁天キャンパスにも「子育て支援・教育実践センター」の施設を設けました。弁天キャンパスには、28年度から「幼保連携型こども園」に移行予定の、植草学園大学附属弁天幼稚園・植草弁天保育園もあります。両者が連携しながら地域の子育て支援の拠点になり、先駆的な子育て支援の取り組みを行うことが、千葉市の「こども未来局」からも期待されています。

植草学園の「子育て支援・教育実践センター」は、運営に幼稚園教諭や保育士をめざす学生が加わるところに特色があります。学生が、いつでも子どもと関わる環境にあるため、学生にとっても、子どもや保護者にとっても、理想的な交流の場となります。

シンボルマークに込めた思いを語る  
小川ゼミのみなさん



「子育て支援・教育実践センター」シンボルマーク



学びと、地域交流と、癒やしの場

## 植草共生の森



キャンパスの東部にある面積2万m<sup>2</sup>を超える広大な森が植草共生の森です。

「里山の再生」をテーマに学生も主体的に参加して整備を進めています。

豊かな自然に囲まれた森の中の散策路を一度歩かれてみてはいかがでしょうか。



植草共生の森入口

### 「植草共生の森」とは?

「植草共生の森」は、本学園小倉キャンパスの東側にある森(自然林)です。この森は、用地取得以来長く手つかずの状態で、コナラ、クヌギ、イヌシデなどの雑木林や杉林があり、また、真竹、東笹等が繁茂し、人の侵入を阻んでいる状態でした。

森の一部には、かつて湿地帯だったところもあり、雨量によっては水路となり、隣接する池に繋がっています。池にはカワセミが生息し、野鳥も飛来しています。



### 里山の再生をテーマに整備を進める

月に1回程度、さくら会メンバーや各学校の委員の皆さん、除草や枝切りなどの整備・管理作業を行っています。また、毎年1月にはビオトープ祭りを開催しています。是非一度見学にお越しください。



稲刈りの様子(園児もお手伝いしてくれました)

ビオトープ祭に向け育てている稻

## 植草学園さくら会会員皆様の「UEKUSA卒後就職支援」

植草学園小倉キャンパスでは、植草学園大学・植草学園短期大学生等の卒業後の就職・キャリア支援を行ってまいりました。卒業生の皆様には、卒業後もキャリア支援室を利用することができます。

この度、植草学園を卒業・修了された皆様の卒業後の再就職を支援するために「UEKUSA卒後就職支援」を学園のホームページ上に設けることといたしました。

日頃より卒業生が母校に来校され、時に就職のご相談をいただくこともございました。

一方で、幼稚園・保育園等から卒業生を対象とした求人の問合せを多くいただくこともあります。このような卒業生の再就職希望と幼稚園・保育園の求人ニーズの双方に対応させていただけるようスタートいたしました。

申込まれたすべての皆様にご連絡を差し上げることはできないと存じますが、ご理解のほどお願い申し上げます。植草学園を卒業された皆様がご利用いただけます。お申込みいただいた個人情報は「UEKUSA卒後就職支援」業務においてのみ使用いたします。

希望される方は、ホームページをご覧ください(トップページ→キャリア支援→卒業生へ)

お問い合わせ先: 大学事務局 キャリア支援課 ☎043-233-9080

# 植草学園大学

## 卒業生の皆さんへ！ 絆を深めましょう



植草学園大学 学長 浦野俊則

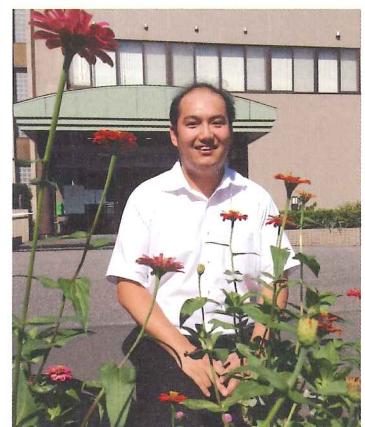
卒業生の皆さん！社会に出て、いかがですか。順調な人も悩みのある人もいると思いますが、時には学生時代のことを想い出しませんか。友達や先生のことなど、いろいろあったと思います。

大学には、皆さんの在学中、縁の深かった先生方がいます。同窓会の行事などのおりに、ぜひ母校に来てください。話をすれば、きっと、気持ちを新たにできると思います。

先生方は、卒業生に会えるのは大変うれしいものです。母校に行くことができない場合は、せめて近況を知らせていただきたいと思います。大学は、卒業生の皆さんと、永くおつきあいしていきたいと思っています。

平成27年4月から、L棟3階に学生が自由に使える部屋「スタディコート」を開設しました。授業の予習や復習にもレポートや卒業研究にも使えるようになっています。また、10月に27年度教員採用試験結果の発表があり、昨年、一昨年の卒業生が小学校教諭と特別支援学校教諭合わせて13名合格しました。卒業生の皆さんの努力の結果です。大学としてもうれしく思います。

## ご挨拶



植草学園大学同窓会 会長 西川 嘉人

大学同窓生のみなさん、いつもご協力ありがとうございます。こうやって会報でいさつするのも4度目になりました。私が大学を卒業し働き始めた最初の年にバスケットボールを教えていた子どもたちはもう高校生になります。毎年思いますが、一年は早いものです。

さて、今年も緑栄祭では卒業生の集いを行わせていただきました。天候が優れない中、kusukusuの席がほぼ埋まるほどの人数が集まってくれたことに嬉しさで胸がいっぱいです。卒業してそれぞれ活動する場が変わっても、集まれる場所・時間があることの大切さを改めて感じることができました。

今回卒業生の集いに参加してくださった多くの方々、本当にありがとうございました。また今年は参加できなかった方々も、来年は是非卒業生の集いに参加していただけますよう、よろしくお願いいたします。

平成27年度の同窓会の活動はいかがでしたでしょうか。来年は同窓会5年目の年になります。こんなイベントをやってほしい、bingoの景品はこんなものが良い等々、みなさんのご意見をお近くの同窓会役員にお伝えください！卒業生全員で同窓会をより良いものにしていきましょう！！

植草学園さくら会会報編集委員 西川嘉人 小泉仁美

## H27年度の活動

### 〈第4回同窓会総会〉

5/9



4期生を迎えて同窓会もパワーアップ！

オープンキャンパスで高校生に植草の良さを語ってくれる卒業生も募集中です！

### 〈オープンキャンパス〉

8/2



## 大学最新情報!! 新設「スタディコート」

4月より学修室として「スタディコート」が新設されました。室内には最新の機器類や卒業論文・就職に関する専門書が置いてあります。プロジェクターや電子黒板等を使ってグループ学修をしたり、就職情報を集めたり、個人学修したり、利用の仕方は様々です。卒業生の皆さんも大学に来たときにのぞいてみてはいかがでしょうか。



## 緑栄祭～卒業生の集い～ 11/15

今年も緑栄祭の二日目に卒業生の集いとして懇親会・bingo大会を行いました。朝からあいにくの雨でしたが、会が始まるころには雨もやみ、kusukusuは満席状態に！今年も個性あふれる商品を目指し、bingo大会も大盛況となりました。参加してくださった皆様、ありがとうございました！



# 植草学園短期大学

## 面白い充実の催しがたくさん～元気な「実家」にお運びを～

植草学園短期大学 学長 中坪 晃一

さくら会の皆さんには、実習指導をはじめ様々なご協力をいただいている。感謝です。

「実家」には、充実の催しがたくさんあります。二つ紹介です。27年の第16回緑栄祭には、近隣の商店街や自治会の方々のご協力を得て、打ち上げ花火登場。夕闇の中に上がる花火を堪能。緑栄祭もいすれ地域の一大イベントに。もちろん昼間も面白い。

「ビオトープ祭」は、この1月に2回目を実施。「植草共生の森」の田んぼで収穫した餅米での餅つきや焼き芋、バームクーヘン作りなども。子どもから高齢の方まで、大勢の参加者が、餅やバームクーヘンをほおばり、フウフウしながら熱い焼き芋を口に、楽しみました。

声をかけ合い、元気な「実家」にお運びください。元気のもとは、皆さんが築いてくれた学風にあります。元気を分かち合い、共に楽しめたら最高です。

## 会長挨拶



さくら会小林会長と

植草学園短期大学同窓会 会長 宮内 美佳

(児童障害福祉専攻9期 介護福祉専攻1期の卒業生)



皆さんはじめまして。本年度同窓会会長の宮内美佳です。

保育士として2年間勤め、現在は病院内で介護福祉士として働き4年目になります。

昨年まで副会長を務めておりましたが、より責任のある立場となりました。不慣れであります、役員皆さんの声に耳を傾けながら精一杯務めて参りますので、ご協力を宜しくお願い致します。

皆さんは職場で悩んでいたり、困っていたりする事はありませんか。先生方や同窓生と話す事で、気持ちが楽になりますよ。また、後輩たちに自身の活躍や経験を話してくださいませんか。先輩方の声は、楽しみや目標へ繋がる大きな力となります。

同窓会では、卒業しても学校へ遊びに来いただけるように、「職場を語る会」などの企画を行ってありますので、是非お気軽に足をお運び下さい。それでは、皆様にお会い出来る日を楽しみにお待ちしています。

## 第15回 同窓会総会



本年度の植草学園短期大学同窓会総会は、5月16日(土)に開催されました。今年は総会と併せて、楽しいレクと美味しいケーキを用意しあ茶会を実施しました。先生方と一緒に歌やダンス、工作をして充実した時間を過ごせました。総会というと堅苦しいイメージですが、次年度も楽しいイベントを企画してお待ちしていますので、ぜひ植草学園まで足をお運びください。

## 緑栄祭 平成27年11月14日・15日

あいにくの雨でしたが、雨にも負けず多くのお客様に参加して頂きました。

毎年恒例となりましたさくら会の合同企画の大抽選会が今年も行われ、皆様のおかげで抽選券800枚があつという間に完売しました。豪華賞品への期待を持ち、ワクワクした表情で友だちやご家族と共に、抽選券を握りしめ抽選会に参加する皆さんの姿がとても印象的でした。売上金は植草学園に全額寄付致しました。

ご協力ありがとうございます。



## 拠点的福祉避難所の運営訓練を実施

本学は、千葉市との連携事業の一つとして、災害時に本学を「拠点的福祉避難所」とする要請を受けているところです。「拠点的福祉避難所」とは、高齢者や障害者など、一般的な避難所ではケアが難しい被災者を受け入れる専門的な避難所のことです。本学の専門性を期待され、市内大学としては第一号となります。

10月15日(木)には、千葉市と共に、障害のある方やご高齢の方など当事者の皆さん41名の方々のご協力・ご参加を得ての本格的な訓練を実施しました。当日はB棟を避難所とし、炊き出しの豚汁やアルファ米等の昼食をとっていただきました。この様子は、NHKの「首都圏ニュース845」でも紹介されたので、ご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。

訓練を終え、諸々の課題が残されていることも明らかになりました。災害はいつ起こるかわかりません。一度だけで終わらせずに、これからも継続して実施する必要を感じています。

(短期大学児童障害福祉専攻 高倉誠一)



受付の様子



炊き出しの様子



各居室の様子

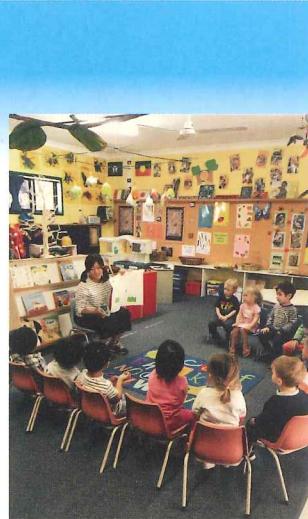
## 海外福祉研修旅行 (オーストラリア)



初めての海外で不安な中、温かいホストファミリーに出会えて本当によかったです。言語が異なる子どもたちの前で実習を行ったことは、文化の違いがあっても子どもの様子は共通なのだと学ぶことができました。海外福祉研修に参加して、私自身たくさんの成長をすることができました。

これから始まる実習にも、この経験を活かしていきたいと思います。

(児童障害福祉専攻 1年 山川愛理)



## 同窓生通信



第13期生  
石倉 はづみ  
(児童障害福祉専攻)



今年度も、在校生・卒業生・先生方と様々な世代の方々との繋がりを大切に活動を続けて参りました。卒業後は足を運びにくいかと思いますが、母校が気軽に立ち寄れる場所の一つとなるよう今後も活動を続けて参ります。是非お待ちしております。

植草学園さくら会会報編集委員 平塚紀子・池上清美

こんにちは!私は今保育園に勤めて3年目です。昨年までは幼児クラスの担任をやらせてもらいましたが、今年は更に小さい子を受け持つ1歳児クラスの担任となりました。

2年間の経験があるので、それほど苦労はしないだろうと考えていましたが、それはとても甘い考えでした。まだ発語がはっきりしないので、言葉のコミュニケーションだけではなく様々な方法で関わって信頼関係を築かなければいけない、食事も手づかみだったり好き嫌いが激しかったりと気づけば一時間があっという間に過ぎているなど大変なことばかりでした。しかし、半年以上経った今では「はつせんせ!」と抱きついてくれたり保護者にも感謝の言葉を頂いたり、自分がやっていることを認めてもらえてとても嬉しいです。

これからも日々反省して成長できるよう、この仕事を続けていこうと思います。

# 植草学園大学附属高等学校

## 会長挨拶

植草学園大学附属高等学校 会長 木村 昌代

同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より同窓会の活動にご支援とご協力を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。麗峰祭の一般公開日には、毎年同窓会総会を行っておりますが、参加される方がすくなく、少々寂しい思いをしております。平成28年度も同様に同窓会総会を予定しておりますので、皆さまお誘い合わせの上、是非お越しください。



## ～平成27年度同窓会総会～

10月3日土曜日、麗峰祭一般公開日に併せて13時より同窓会総会が行われました。会場はかつて幼稚教育専門学校のあった現D棟3階講義室。例年たくさんのお茶とお菓子を用意してお待ちしておりますが、参加人数が今年も9名と少なくとても寂しいです。母校の文化祭を懐かしく楽しみつつ、ぜひ同窓会総会にもお立ち寄りください。再会をゆっくり楽しむ場として最適です！

木村昌代会長と新人監査久保すみれさんです。植草完校長先生と根本薰雄事務長先生

平成25年度卒業生 東 茜音さん、石毛綾乃さん

平成8年度卒業生 舟山真梨子さん（旧姓：小川）

平成18年度卒業生 佐藤絢香さん

平成18年度卒業生 石川留美さん、日色由夏さん（旧姓：稻村）。かわいいお子さんを連れてきてくれました。ついこの間卒業したと思ったらもうママになっていました！（竹村驚き！）

お顔を出してくださったみなさん本当にありがとうございました。

恒例の集合写真！みなさん良い笑顔です。

ちなみに撮影は高校英語教諭竹村美紀 平成3年卒です。

石澤沙央里さん。高校事務に在職中。もうすっかりベテランです。

平成26年度卒業生 小川由花さん、吉野瞳さん

OG訪問

皆さんは高校時代、部活動はされていましたか？先輩後輩との思い出もきっとたくさんあることでしょう。このたびの麗峰祭では約20年の時を超えて海外研究部の生徒とOGが一枚の写真に収まりました。ちなみにこちら竹村美紀の高校の同級生です。数十年ぶりの母校訪問を楽しんでいるようでしたし、日常五心のパネルを感慨深げに見入っていました。ちなみに“あのパネル”まだ健在です・・・

## OG訪問

皆さんは高校時代、部活動はされていましたか？先輩後輩との思い出もきっとたくさんあることでしょう。このたびの麗峰祭では約20年の時を超えて海外研究部の生徒とOGが一枚の写真に収まりました。ちなみにこちら竹村美紀の高校の同級生です。数十年ぶりの母校訪問を楽しんでいるようでしたし、日常五心のパネルを感慨深げに見入っていました。ちなみに“あのパネル”まだ健在です・・・

## 最近の様子

植草学園大学附属高等学校 校長 植草 完



国税に関する作文では以前には国税庁長官賞をいただき、今年も千葉東税務署長賞をいただきました。

小さな親切運動には全員加入しており、毎年「はがきキャンペーン」にも参加し、入選もいただいておりますが、本年は運動本部賞という素晴らしい賞をいただきました。

千葉市の「こども若者選挙」が本校で実施されています。これは「千葉市をより魅力ある街にするには」という若者視点での施策提言を、校内での選挙により絞り込み、より具体的な提案をするという試みで、2月には熊谷市長の前でプレゼンテーションをする予定です。28年度からの選挙権の低年齢化もあり、高校生にも地域の問題を考えさせるよい機会と捉え千葉市と協力して取り組んでいます。

また以前から留学に挑戦する生徒は多く、良い成果を上げていましたが、今年から始まった文部科学省の「トビタテ留学JAPANプログラム」に応募した英語科の男子生徒が資金援助をいただきながら、留学しました。

国際理解では、11月に「JENESYS2015 千葉県高校生訪韓研修団」に7名の生徒が選ばれ、引率教員も派遣致しました。これに先立ち、夏には韓国の高校生訪日団が本校を訪れ、小倉キャンパスの大学施設を会場として交流する機会を得ました。

※まだまだお伝えしたいことは多いのですが、詳しくは高校のホームページをご覧下さい。  
また、**高校入試で同窓生推薦制度**があります。学園同窓生（高校だけでなく大学・短大はもちろん、幼専や服専も対象です）の身内の方を積極的に受け入れようと考えています。詳細についてはお問い合わせ下さい。

## ミス インターナショナル世界大会！

2015年度ミス インターナショナル日本代表として本校卒業生 中川愛理沙さん（H25年度卒）が選ばれたことは昨年の[さくら会報]でお伝えしましたが、その世界大会が11月5日に東京都内で開かれました。中川さんは“自国の民族衣装を最も魅力的に披露した出場者に贈られる特別賞‘ミス・ナショナルコスチューム’”に選ばれました！ 黒の打ち掛けを開き、白地に満開の桜が描かれた着物を披露した中川さん、まるで本当の桜のようにあでやかで美しかったそうです。ここからお祝い申し上げます。おめでとうございました。

## 姉妹で同窓生



今年度（平成27年度）よりご勤務いただいている養護教諭の久保すみれ先生は平成23年度卒業で本校に教育実習生としてもいらしていました。そのすみれ先生の妹さんが今年度卒業生3年I組の久保ゆりさん。すみれ先生とゆりさんが姉妹であることは生徒のみなさんは知らなかったかもしれません。家では仲の良い姉妹でも学校では生徒と先生としての立場をお互いにわきまえていたそうです。特に取り決めはしていなかったそうですが、そこは暗黙の了解。可愛らしいお二人の笑顔もそうですが、お互いをいやるほんわかしたすてきな姉妹です。



さくら会報の締め切りはだいたい11月末のですが、年々そのスピードが加速してきています。正直‘えっ？もうそんな時期？’と慌てているのです。歳を重ねるごとに時の進むのが早くなっています。つい先日冷凍しておいたお正月料理の残り物を処分しました。次の日におせち料理の予約をしました。それは私がズボラなこともありますが、地球の回転速度があがっているに違いありません！みなさまに喜ばれる高校のページを作るために早め早めの準備を心がけます。みなさんも記事にしてほしいことなどございましたら是非とも高校の編集委員までお知らせください。

植草学園さくら会会報編集委員 木村・石澤・竹村

# 植草幼稚教育専門学校

## 会長挨拶



編集委員長の鈴木さん(左)と一緒に

### 植草幼稚教育専門学校同窓会 会長 石川 明子

卒業生の皆様 お元気でお過ごしでしょうか。卒業生の皆様には、幼稚教育専門学校同窓会活動にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

毎年、大学と短大で行う「緑栄祭」の日に同窓会総会と懇親会を開催しています。今年は小雨が降り足元の悪いなか、小倉キャンパスに足を運んでくださった卒業生の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。残念ながら、範子校長先生は体調がすぐれず出席できませんでしたので、参加者の皆さんには大変がっかりされておりました。「範子先生にお会いしたいので同窓会に出席しています」というお声をたくさん聞きました。学生の時にいつも温かい笑顔とお言葉で私たちのために植草パワーを送り続けてくださった範子先生に、今度は私たちのパワーを届けるための色紙を作成しました。

メッセージの中に「娘や孫が弁天保育園、植草学園大学附属高校、植草学園大学でお世話になっています」また、「職場では幼専の卒業生と一緒に頑張っています」と書かれていました。また、結婚・出産で一度仕事から離れたのですが、再び新しい職場で卒業生と出会い楽しく仕事を続けていると書いておられる方もいました。卒業の期は違っても同じ校舎で学び、範子先生や諸先生方から学んだことを、学校はなくとも卒業生自身が受け継いでいると感動しました。まさしく「絆」ですね。

卒業生の皆さん!!ぜひ同窓会にお出かけください。短い時間ですが、懐かしい人との久しぶりの再会やすてきな出会いがあります。笑顔が生まれます。優しい気持ちになります。心が豊かになって、ほっと心が和む時間を過ごすことができると思います。それが、「植草幼専パワー」です。

## 近頃思うこと

### 西村 正彦先生



皆さんこんにちは。皆さんは幼専で培った力で、各方面で活躍のことだと思います。

私は平成8年4月より平成20年3月幼専閉校の年まで12年間勤務しました。生活科学・環境指導法・総合演習を担当しました。幼専では授業や実習の他、運動会、文化祭、箱根研修、創作ダンス発表会などの行事を通して皆さんが力を合わせて頑張ったことが良い思い出です。何事にも心を一つにして燃える素晴らしい姿に感動する日々でした。夢の実現に向けて努力している姿に感動しました。幼専を退任してから7年間は地域の活動に参加しています。自治会長、学校評議員などです。79歳になったこの頃は孫と過ごす時に喜びを感じる毎日です。近くに住む二男の子供です。しかし心配な事は、この子たちの未来です。2014年のいじめの調査結果で、小・中・高で把握されたいじめの数は18万8千507件のことでした。原因の一つは、近頃の功利主義、能率主義の弊害による「やさしさ」の不足ではないかと思われます。人に対するやさしさや、身の回りの動植物や自然に対するやさしさの不足です。それが、いじめとなって現れていることと思われます。また、自然に対するやさしさの不足が様々な異常気象の原因の一つとなっていると思われます。純真な子どもたちの瞳を見る時、子どもたちの持っているやさしい気持ちがすぐくと育つ、皆が明るく生活できる社会になることを願っています。終わりに、皆様の益々のご幸福と“植草学園”の更なるご発展を祈念しています。

### おもいで 創作ダンス 発表会



一人ひとりが強い想いをもって一生懸命演じました

毎年、新しい「題目」を決め、ポスター、衣装、構成など全て自分たちで考えて作り上げた創作ダンス。投票で順位が決定しましたが、順位以上に一つの目的に向かって、みんなと一緒に試行錯誤をしながら頑張ったプロセスが私たち(学生)をひと回りもふた回りも大きくしてくれました。自分がやった役、係りを覚えていますか。

## 平成27年度 第42回同窓会

### 平成27年11月14日(土)『第42回 同窓会(総会・懇親会)が行われました。』

今年は11期の皆さんに多く出席していただきました。また、長年出席していただいている13期の皆さんに加え、お子さんを連れて初めて出席してくださった方もおり、今年も和気藹々とした雰囲気が溢っていました。範子先生がご欠席であっても同窓生の範子先生を想う気持ちや幼専への想いは大変強いものであることを、同窓生の皆さんから感じました。来年も、より多くの同窓生の皆さんにお会いできることを楽しみにしております。



色紙に範子先生への  
想いを込めて…



和やかで楽しい歓談の時間



今年もありがとうございました!



ひう先生と範子先生の  
素敵なお物語…

### 同窓生の窓 植草弁天保育園 保育士 35期 植木 未来さん

みなさんこんにちは。植草幼稚教育専門学校最後の卒業生35期の植木未来です。早いもので社会に出てから8年目となり、職場にも後輩が少しずつ増えてきました。幼専を卒業後、植草学園大学附属美浜幼稚園に就職しました。ちょうど「附属幼稚園・第二幼稚園」から園名が変わり「弁天幼稚園・美浜幼稚園」となった年です。6年間勤務の後、現在は幼専で学んだ校舎を開園した植草弁天保育園に異動し、2年目になりました。初めは「幼稚園」から「保育園」の異動に戸惑い不安でしたが、人の適応性は意外と高いものでした。未満児・以上児…みんな可愛い子どもたち!!そのパワーとキラキラとした笑顔は変わりません。今もなお、子どもたちから色々な事を学んでいます。職場には幼専の先輩や植草大学、短大の卒業生がいて「植草」の仲間がいっぱいです。28年度から「こども園」としてスタートするために、幼稚園、保育園の垣根を越えて話し合いを重ねています。2つの園が一緒になるというのは、なかなか大変な事ですが、「幼稚園」と「保育園」の経験が、少しでも役に立つように頑張っています。子どもたちが楽しく、充実した生活ができるように、これからも勉強しながら誇りを持ってこの仕事を続けていきます。



いつも元気いっぱいの  
子どもたち!



保育園楽しいね!

### 寄付のお願い

幼専同窓会は、卒業時に納入していただいた終身会費を元に運営していましたが、卒業生がいなくなつた今、収入源がなくなり貯金を切り崩して活動を行っています。また、平成22年度から幼専単独の活動だけでなく、植草学園さくら会(連合同窓会)の運営費も必要となりました。これからの同窓会存続・発展のために、幼専同窓生の皆さんに寄付金のご協力をお願いいたします。なお、ご寄付いただいた方のご芳名は次号の会報に掲載いたします。なお芳名の記載を希望されない方は、その旨を振り込み用紙の通信欄にお書きください。



今年度も会報6号を無事に発行する運びとなりました。卒業生の皆さんに母校での思い出を懐かしく感じて頂ければ幸いです。毎年、卒業生の皆さんに楽しんでいただけるように役員一同努力しております。近年役員の数が少なくなり、それぞれ分担しながら運営しております。これからも幼専同窓会が存続出来るように、卒業生の皆さんのお力を貸していただけたらと思っております。私たちと一緒に活動してみませんか。お気軽にお声かけください。  
☆会報5号からは発送ではなくホームページに掲載させていただきます。皆様のご意見も伺いたいと思いますのでお寄せください。(同窓会に出席された方にお渡ししています)

植草学園さくら会会報編集委員長 鈴木香菜 編集委員 石川明子、小林亜紀子、山下麻子

植草幼稚教育専門学校同窓会へご寄付いただける方は  
郵便局の振り込み用紙に下記の項目をお書きください。

1,000円 (何口でも結構です)  
郵便振替口座にてお振込みください。

口座記入番号: 00270-9-140638

加入者名: 植草幼稚教育専門学校同窓会

ご依頼人: 会員の方の住所、○期、○組、氏名、

電話番号をご記入ください。

通信欄: 寄付金の口数を明記(例: 寄付金3口)してください。

## 平成27年度 植草学園さくら会役員

- 顧問 植草和典 植草完 浦野俊則 中坪晃一 植草範子
- 会長 小林鶴枝
- 副会長 石川明子 木村昌代 宮内美佳 西川嘉人
- 監事 岡田泰子 古川麻由美
- 理事 齊藤京子 早川佐知子 松本珠代 鈴木朱美 小笠原晴代  
信田一美 岡田眞貴子 竹村美紀 金久保利一 小菅秀美  
高橋成光 池上清美 木下裕美子 小泉仁美 石井涼平
- 合同企画委員長 宮内美佳
- 会報編集委員長 石川明子
- ホームページ委員長 石井涼平 ● 代議員 各校より計20名
- 大・短同窓会協力委員会 黒田静江 井口ひとみ 植草一世 多田昌代 佐藤将朗 田上未来
- 高校協力員 根本薰雄 ● 学園事務局長 手塚千俊 ● 事務局 キャリア支援課



### 植草学園さくら会ホームページ

植草学園大学、植草学園短期大学のホームページメニューから、「植草学園さくら会(連合同窓会)」をクリックし、植草学園同窓会のホームページにお入りください。

**URL <http://www.uekusa.ac.jp/>**